H27/6/20

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

一般社団法人 東京都空手道連盟

空手道を究明し、その実践活動を通して広く斯道の普及、啓発を図り、健康な身体と精神を涵養することにより、心身の健全な発展に寄与することを目的とした以下の事業を行なった。

1 空手道競技力の強化

空手道競技のさらなる強化・向上を図るための強化練習を実施した。

| 日付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 備考 |
|------------------|------------|---------|--------|
| 平成26年7月12•13日 | 都道府県強化選手合宿 | 日本空手道会館 | 200名 |
| 平成 26 年 5 月~12 月 | 強化練習 | 日本空手道会館 | 延べ700名 |

2 空手道大会の開催

生涯スポーツとしての観点から、幼年から中高年層を対象とした空手道大会を開催した。大会の実施に当たっては、広く会員に参加を呼びかけ、大会の成功と内部組織の充実強化を図った。

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 役員·審判員等 | 参加選手 |
|-------------------|-----------------------|-------------|---------|-----------------------|
| 平成26年5月11日 | 第 67 回都民体育大会 | 東京武道館 | 81名 | 男子 40 チーム 女子 8 チーム |
| 平成 26 年 5 月 25 日 | 第28回東京都小学生空手道選手権大会 | 東京武道館 | 122名 | 2,310名 |
| 平成26年6月22日 | 第 44 回東京都空手道選手権大会 | 東京武道館 | 109名 | 605名 |
| 平成 26 年 7 月 20 日 | 第28回中学生・13回幼年空手道選手権大会 | 東京武道館 | 92名 | 734名 |
| 平成 26 年 11 月 30 日 | 第21回シニアオープン空手道大会 | 新宿コズミックセンター | 66名 | 495名 |

3 公認指導員及び審判員の養成並びに資格認定

(1)公認指導員講習会を実施して優秀な指導者を育成するとともに、公認指導員有資格者については上級の資格を取得すべく、文部科学省及び公益財団法人日本体育協会並びに公益財団法人東京都体育協会のスポーツ指導員講習会へより多くの会員が受講するよう推進した。

| 日 付 | 事 業 名 | 会場名 | 参 加 者 |
|----------------|-----------------|-------------|-----------------|
| 平成26年10月~27年1月 | 日体協公認上級指導員養成講習会 | 荒川スポーツセンター他 | 受講者39名 |
| 平成27年1月31日 | 東京都公認指導員講習会 | 日本空手道会館 | 新規 18 名 更新 39 名 |

(2)公認審判員講習会を実施して審判員を育成し、審判レベルを向上させるために、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する地区及び全国公認審判員講習会へより多くの会員が受講するよう推進した。

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 受 講 者 |
|------------|-------------|----------|----------------------------|
| 平成26年3月30日 | 第1回審判団編成講習会 | 日本空手道会館 | 全国31名 地区26名 A6名 B4名 |
| 平成26年4月6日 | 第2回審判団編成講習会 | 東大和市民体育館 | 全国24名 地区22名 A7名 B1名 |
| 平成26年5月6日 | 東京都公認審判員講習会 | 日本空手道会館 | 更新者含 A24 名 B29 名 区郡市15名 |
| 平成26年5月6日 | 女子組手審判員講習会 | 日本空手道会館 | 区郡市4名 |
| 平成27年2月1日 | 全空連指定形講習会 | 日本空手道会館 | 180名 |

4 公認段位審査会の開催

少年(8歳~15歳)の初段位・弐段位及び16歳以上の初段位から参段位までの公認段位審査会を主管・実施に加え、 上級の公認段位を取得すべく、講習会などを開催し、公益財団法人全日本空手道連盟の主催する公認段位審査会へより 多くの会員が受講するよう推進した。

| 日 付 | 事 業 名 | 会場名 | 受審者 | 合格者 |
|------------------|-----------|---------|--------------------------------|--------------------------------|
| 平成 26 年 4 月 20 日 | 春季公認段位審査会 | 日本空手道会館 | 少初109名 少弐12名 初68名 弐19名、参24名 | 少初106名、少弐12名 初67名 弐19名、参11名 |
| 平成 26 年 10 月 5 日 | 秋季公認段位審査会 | 日本空手道会館 | 少初91名、少弐27名 初64名、弐20名、参24名 | 少初85名、少弐23名 初59名、弐16名、参16名 |

5 空手道に関する関係諸団体の実施する諸事業に対しての協力援助

- (1)各競技団体(関東学生空手道連盟、東京都高等学校体育連盟空手道部、東京都中学校空手道連盟等)との交流を深め、 関連する諸事業に協力した。
- (2)東京都教育委員会及び公益財団法人東京都体育協会並びに公益財団法人全日本空手道連盟等、関係団体の事業に対し積極的に協力した。

①公益財団法人全日本空手道連盟

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 | 備考 |
|-----------------------|------------------------|------------------|---------|------------------|
| 平成26年4月19日 | 全空連強化選手選考会 | 日本空手道会館 | 選手10名 | 合格6名 |
| 平成 26 年 8 月 16 • 17 日 | 第14回全日本少年少女空手道選手権大会 | 東京武道館 | 選手 48 名 | 男子総合優勝 女子第3位 |
| 平成 26 年 10 月 4 日 | 第10回全日本障がい者空手道競技大会 | 東京武道館 | 選手5名 | 優勝者 形1名 組 手1名 |
| 平成 26 年 9 月 20~22 日 | 日本スポーツマスターズ 2014 空手道競技 | 埼玉県立武道館 | 選手19名 | 優勝者 形1名 組手1名 |
| 平成 26 年 10 月 13~15 日 | 第69回国民体育大会 空手道競技 | 長崎県佐世保市 | 選手8名 | 総合第5位 |
| 平成 26 年 12 月 6 日 | 第 42 回全日本選手権大会(団体戦) | 東京武道館 | 2チーム | 男子準優勝 女子準優勝 |
| 平成26年12月7日 | 第 42 回全日本選手権大会(個人戦) | 日本武道館 | 選手 4名 | 動員 2,090 名 |
| 平成 27 年 3 月 28~30 日 | 第9回全国中学生空手道選抜大会(はまなす杯) | 北海道北広島市 総合体育館 | 選手 24名 | 女子優勝 |

②全日本空手道連盟関東地区協議会

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 | 備考 |
|-------------------|------------------|-----------|----------------------|------------------------|
| 平成26年7月6日 | 第3回関東少年少女選手権大会 | 群馬県群馬アリーナ | 選手72名 | 優勝者 形4名 組手3名 |
| 平成26年7月13日 | 第4回関東スポーツマスターズ大会 | 浦安市総合体育館 | 選手39名 | 男子総合優勝 |
| 平成 26 年 7 月 20 日 | 地区公認形審判員講習会 | 栃木県立県南体育館 | 新規3名 更新9名 | 合格3名 |
| 平成 26 年 7 月 27 日 | 関東地区組手審判講習会 | 日本空手道会館 | 受講者60名 | |
| 平成26年8月16•17日 | 第 45 回関東空手道選手権大会 | 栃木県立県南体育館 | 選手30名 | 総合優勝 |
| 平成 26 年 10 月 5 日 | 第 17 回関東中学生選手権大会 | 埼玉県立武道館 | 個人 8名 団体8チーム | 優勝 形1名 |
| 平成26年11月15日 | 地区公認組手審判員講習会 | 日本空手道会館 | 新規 15 名 更新 27 名 | 合格 10 名 |
| 平成 26 年 11 月 16 日 | 公認四•五段位審查会 | 日本空手道会館 | 四段位 17 名 五段位 18 名 | 合格 四段位 12 名 五段位 7 名 |
| 平成27年2月8日 | 関東地区組手審判講習会 | 日本空手道会館 | 受講者 51 名 | |

③公益財団法人日本武道館

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|-----------|---------------------|-------|---------|
| 平成26年8月2日 | 平成26年度全日本少年少女武道錬成大会 | 日本武道館 | 2,500 名 |

④東京武道館

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|------------|------------|-------|------|
| 平成27年2月11日 | 第13回東京武道館杯 | 東京武道館 | 142名 |
| 平成27年2月21日 | 東京武道館錬成講習会 | 東京武道館 | 30名 |

⑤全国中学校空手道連盟

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 | 備考 |
|---------------|----------------|---------------|-----|--------------|
| 平成26年8月22~24日 | 第22回全国中学生選手権大会 | 兵庫県グリーンアリーナ神戸 | 32名 | 女子団体形 準優勝 |

⑥公認指導員並びに審判員の養成と資格認定

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 | 備考 |
|---------------------|--------------|----------|--------------------------------|------|
| 平成 26 年4月 12・13 日 | 全国公認組手審判員講習会 | 日本空手道会館 | 更新 21 名 ランク 18 名 新規 21 名 | 合格3名 |
| 平成26年4月19•20日 | 全国公認組手審判員講習会 | 大阪府立体育館 | 新規2名 | 合格0名 |
| 平成 26 年 5 月 10・11 日 | 全国公認形審判員講習会 | 日本空手道会館 | 更新 4 名 新規 2 名 | 合格2名 |
| 平成26年7月20日 | スポーツ指導員義務講習会 | 神奈川県立武道館 | 受講 25 名 | |
| 平成26年9月7日 | 日体協公認コーチ更新講習 | 日本空手道会館 | 受講4名 | |
| 平成 26 年 11 月 22 日 | 公認六段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審6名 | 合格1名 |
| 平成 26 年 11 月 23 日 | 公認七段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審1名 | 合格1名 |
| 平成27年3月8日 | 公認八段位審査会 | 日本空手道会館 | 受審6名 | 合格1名 |

(5)選手選考会の開催

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参加者 |
|-------------------|------------------------------------|-----------|---------|
| 平成 26 年 4 月 19 日 | 都空連強化選手選考会(成年) | 日本空手道会館 | 選手 50 名 |
| 平成 26 年 4 月 19 日 | 都空連強化選手選考会(少年) | 日本空手道会館 | 選手50名 |
| 平成26年6月1日 | 全国中学生・関東中学生大会代表選手選考会 | 江東区スポーツ会館 | 選手200名 |
| 平成26年6月1日 | 日本スポーツマスターズ・関東スポーツマスタ ーズ代表選手選考会 | 江東区スポーツ会館 | 選手70名 |
| 平成26年6月1日 | 関東大会代表選手選考会 | 江東区スポーツ会館 | 選手30名 |
| 平成 26 年 10 月 18 日 | 全日本大会代表選手選考会 | 日本空手道会館 | 選手20名 |

6 空手道に関する刊行物の発行

本連盟の活動内容や事業、関係諸団体や各区郡市連盟の諸事業に関しては、ホームページを活用し、情報提供した。

7 その他、この法人が目的を達成するために必要な事業

- (1)財源の確保の基礎となる会員等の拡大に努力した。
- (2)選手権大会及び諸事業を推進させるために、広く財源を求めた。

(3)区郡市理事長会議及び同連絡会議を開催して、各区郡市連盟からの意見を広く聴取し、それを本連盟の運営に反映させ、組織の強化充実を図るために努力した。

| 日 付 | 事 業 名 | 会 場 名 | 参 加 者 |
|-------------|----------|---------|-------|
| 平成26年11月11日 | 区郡市理事長会議 | 日本空手道会館 | 52名 |

- (4)会員一人ひとりが参加できるような運営形態を維持していくために、各区郡市連盟の行事を後援した。
- (5)総会及び理事会等の開催
 - ①総会を年2回、定款の定めるところにより開催した。
 - ②理事会を定款の定めるところにより開催した。
- (6)幹部中央研修会等のあらゆる機会をとらえて、連盟の運営等についての意見を広く掌握し、組織の充実・強化を図った。

| 日 付 | 事業名 | 会 場 名 | 参 加 者 |
|-----------|-----------------|--------|-------|
| 平成27年1月18 | 平成 26 年度幹部中央研修会 | 都空連事務所 | 24名 |

- (7) 斯道を通じて広く都民の体位向上と、青少年層に対する健全な心身の育成に重点を置き、区郡市連盟を基盤とした本連盟の充実発展を図った。
- (8)生涯スポーツの視点から、中高年層への普及活動を積極的に行なった。
- (9)エンブレム、ネクタイ、資格証などあっせんを行なった。
- (10) インターネットのホームページを活用し、広く情報収集・提供を図った。